

気候変動関連データのアセンブリチェーン

気候予測・観測データ



事業関連データ



経済影響予測データ



経営活用・データ



具体例「保有先」

気温、降水量、河川の氾濫に伴う浸水、気候変動影響予測（農林水産業、健康等）等

[気候予測データセット2022 (DIAS)、A-PLAT、洪水ハザードマップ、気候変動影響評価報告書]

農作物生産量・漁獲量、原産地、工場・倉庫・作業現場の立地、輸送経路

[気候変動影響評価報告書、気候変動影響予測・適応評価の総合的研究、業界団体、個社内、企業開示]

農作物生産量・漁獲量の変化による売上の増減、水害による設備被害額・営業停止被害額

[個社内、企業開示 (TCFD等)、業界団体]

設備投資計画、新技術の研究開発・導入、防災投資、適用策の導入効果

[企業開示 (TCFD、経営方針等)、適応策事例 (A-PLAT)]

課題・取組への期待

データの留意点、概要文、補足情報等について、データユーザーのニーズを踏まえデータ一覧を充実化

データ・利活用方法に関して分野ごとに議論を実施

気候予測・観測データ等と組み合わせて有効な分析ができるデータの有無、所在、またその分析方法について具体化が必要

産地や取引先・物流など、分析の前提となるデータの整備

データを組み合わせた具体例の共有や、特定の地域・産業に関連する企業・業界団体との対話、課題の把握など

分析結果の解釈、広範な部署の巻き込みには相応のリソースが伴い有用性への理解が必要

適応・リスク低減・機会創出の実例の共有・浸透が必要

今後の議論のあり方について

気候変動関連データの活用と適応に関する実践パネル

企業・金融機関及び関係省庁等が、気候変動に係る適応、リスク低減、機会創出等に向け、気候変動関連データを的確・有効に利活用することができるよう、パネル形式でデータ活用を含む関係者の取組事例や課題等を共有しつつ、協働の可能性等を実践的に議論

気候変動リスク産官学連携ネットワーク

施策の進捗状況を定期的に確認しつつ、これを基に幅広い関係者を交えたシンポジウムを通して情報共有・議論